

被災者の生活再建に向けた自治体連携 [第4回会議] 開催要項

恒久住宅移行期の被災者相談活動・ 生活支援における課題整理・対応協議

1. 開催趣旨

発災から2年4か月が経過し、応急仮設住宅入居戸数・入居者数は、ピーク時の3,415戸・9,074人（H30.11月末時点）から、建設型104戸・206人、借上型674戸・1,616人（R2.9月末時点）となっています。このことから、多くの方々は住まいの確保が進み、住み慣れた地域や新しい地域での生活に移行してきていることがうかがえます。この恒久住宅での生活が始まる時期は、生活環境の変化や近隣との新たな人間関係からストレスを抱える可能性も高く被災者の健康の保持・増進などの支援活動が求められるとともに、再建先での新たなコミュニティの構築や見守り体制の再構築も重要です。

一方、応急仮設住宅の供与期間延長決定数は737世帯（R2.9月末時点）にのぼり、収入の減少、健康の悪化、家族内での再建意向の不一致、保証人の不在、希望物件の不足など、住まいの確保に関わる悩みや不安を抱えている世帯もいらっしゃいます。

加えて、被災者を取巻く課題も時間の経過とともに個別化・複雑化してきています。同時に、災害をきっかけに、個人・世帯・地域社会において潜在化していたニーズが顕在化したり、問題が深刻化したりしています。

このような状況のもと、被災時とは異なる市町村で生活している世帯の中には、被災地の行政や社協等による支援だけではなく、現居住地での支援を必要としている世帯もあります。とくに生活の根幹である「住宅」「生計（就労）」「健康」については、制度に基づくサービス（公的機関）等を中心に専門領域やインフォーマルサポートとの連携による地域生活支援の展開が必要となり、被災者の生活課題とニーズを起点にした資源の調整・開発が求められることから、市町村や分野を超えた連携が欠かせません。

また、支援制度終了に伴う経済的負担の増加、地域活動の縮小、再建の目処が立たない焦燥感や不安の高まり等、広範なニーズへの対応が求められ、「多様な担い手や専門職・機関との連携・協働」「個と地域の一体的支援」「予防的アプローチ」が支援課題となってきます。ニーズへの対応や課題の解決においては、被災者の現況把握やアセスメントが肝要になるとともに、地域の福祉力を高めていくアプローチも必要となります。

そこで、被災時の居住市町村外で生活する被災者の生活再建に向けた支援における課題の抽出・整理を行い、対応策について協議し、被災された方が県内どこに住んでいても必要とする支援を受けることができる、地域を基盤とした多機関協働による総合相談・生活支援体制を整備することを目的に、本会議を開催いたします。

第4回は、前回までの整理課題への対応策と取組状況を共有します。また、生活支援相談員の仕組みを提案し実施に関わられたコミュニティ・インパクト・ワイルド FEEL Do 代表 栗原英文さんから、生活支援・相談活動の歴史的経過や課題と展望についてお話しいただきます。被災者・被災地住民がそれぞれの環境の中で安心した日常生活を営むことができるよう、いま一度、支援関係者が目線を合わせ、相談支援・参加支援・地域づくりの一体的な取り組みにつなげたいと考えています。

2. 開催日時 令和2年 **11月13日(金) 14:00~17:00** (受付13:30)

3. 開催場所 国民宿舎 サンロード吉備路 コンベンションホール雪舟
(岡山県総社市三須 825-1 TEL 0866-90-0550)

4. 参加対象 ① 被災時の居住市町村から他市町村に転出または避難(居住)している要継続支援被災者が所在する10市町*の行政・社協の職員等
*倉敷市、総社市、岡山市、玉野市、笠岡市、井原市、高梁市、浅口市、矢掛町、勝央町 2020年9月末時点
② 被災者の生活支援・相談活動等に取り組む行政・社協の職員等

5. 参加申込 11月11日(水)迄にFAX又はE-Mailで別紙にてお申込ください。

6. 開催日程

時間	内容(検討中)	担当等
13:30	受付	
14:00	【はじめに：目線を合わせる】 開会のあいさつ 会議の目的・目標・進め方の共有 こことからだの健康調査(第2回)結果について	岡山県被災者生活支援室 室長 東寛氏 岡山県暮らし復興サポ-トセンター 岡山県こころのケア相談室
14:15	【情報提供：災害が地域福祉活動にもたらしたもの】 被災者生活支援・相談活動の歴史的経過 支援活動を通じて見えてきた課題や今後の展望	コミュニティ・インパクト・ラボ FEEL Do 代表 栗原英文氏
14:45	【情報共有：被災者の現況と支援課題】 総社市被災者寄り添い支援室 倉敷市真備支え合いセンター(受託：倉敷市社協)	室長代理 三宅伸明氏 センター長/社会福祉士 佐賀雅宏氏
15:20	休憩	
15:35	【実践共有：専門職との連携による支援展開】 見守り相談支援における住まいの伴走型支援 ケース会議への士業[弁護士]の参加	倉敷市被災者見守り支援室 主幹/保健師 原田恵氏
16:00	【取組報告：被災地外に居住する被災者の見守り支援体制構築事業の取組状況】 被災時居住市町村外で生活する世帯の現況と課題 住民票異動世帯への居住地における支援[岡山市] 住民票未異動世帯への居住地における支援[高梁市]	岡山県暮らし復興サポ-トセンター 岡山市社協 相談支援包括化推進員 酒井和歌子氏 高梁市社協 地域福祉課長補佐 横林史典氏
16:30	【行政説明：恒久住宅移行期における支援の仕組】 被災者支援のための市町村間における個人情報提供 応急仮設住宅からの退去、転居に関する相談支援 被災者見守り・相談支援における生活再建相談窓口事業	岡山県被災者生活支援室 副参事 岡崎加住子
16:50	【おわりに：目線を合わせる】 地域共生社会の実現に向けて 閉会のあいさつ	FEEL Do 代表 栗原英文氏 岡山県社会福祉協議会
17:00	終了	

7. 主催・お問い合わせ

岡山県暮らし復興サポートセンター(担当：椿原、西原)
TEL: 086-226-2830 FAX: 086-225-6602 E-mail: kurashi@fukushiokayama.or.jp
岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会内